

## 高校生にみる社会化過程と課外クラブの選好

武田正司\* 田中鎮雄\* 椛沢聖子\* 綿田育代\*

### Socialization Process and Preference of Extracurricular Club in High School Age

Masashi Takeda\*, Shizuo Tanaka\*, Seiko Kabasawa\*, Ikuyo Watada\*

The relationship between socialization process and preference of extracurricular club activities was investigated through 840 senior high school students in the second grade. The main results were as follows :

- (1) The entrance examination system for college or university and their studies to pass the examination made the students passive for the extracurricular club activities, especially for the sports club activities.
- (2) Because of the social climate in our culture such as female students themselves to be feminine, and further the others expect them to be so, their motivation to participate in sports activities tended to be inhibited.
- (3) Although there exists such a strong social climate, those who preferred extracurricular sports club activities have developed or formed their sport orientated personality, which were commonly observed in the extracurricular sports club members , from their early stage of the development.

---

\* 日本大学文理学部 (Nihon University, College of Humanities and Sciences)

目 的

社会的学習者としての個人は、さまざまな社会的状況との関わりの中で、役割学習をとおして社会化されていく。この社会化の過程において、政治的・経済的・職業的・社会的と同様にレジャー的・社会的（leisure socialization）もまた個人の統合的な社会化に対して重要な意味をもってくることは推測に難くない。

多様なレジャー行動の中でも、スポーツへの社会化

に関しては、家庭、同輩集団、学校、地域社会などの社会化場面における重要な他者のスポーツ参加促進機能を分析している研究をみる事ができる。<sup>1)2)</sup>

社会化理論に基づいたスポーツへの参加またはその過程を対象とした微視的研究の流れとは別に、スポーツへの社会化過程をより巨視的な視座から分析する研究にも目を向ける必要があろう。例えば、受験制度とクラブ参加の関連分析を試みた研究（松井ら、1960）<sup>3)</sup>、都市化に伴うスポーツ人口の変動を分析した研究（田

表1. スポーツ風土調査項目

1	小学校入学以前は、とても元気な子どもでした	41	中学校2年生の頃は、ひと一倍元気な子でした
2	小学校入学以前は、運動神経の発達した子どもでした	42	中学校2年生の頃は、スポーツや運動がかなり得意な方でした
3	小学校入学以前は、スポーツをみるのが大好きでした	43	中学校2年生の頃は、スポーツをみるのが大好きでした
4	小学校入学以前は、ひとりでも活発に運動遊びをしていました	44	中学校2年生の頃は、ひとりでも、ジョギングやなわとびなどよく運動しました
5	小学校入学以前は、お友だちと一緒に活発に遊ぶのが楽しみでした	45	中学校2年生の頃は、グループで運動することが楽しみでした
6	小学校入学以前は、テレビをみる時間がかなり長かったようです	46	中学校2年生の頃は、スポーツクラブや運動部で活発に運動しました
7	小学校入学以前は、運動以外に好きな活動（趣味）がありました	47	中学校2年生の頃は、テレビをかなり長い時間視聴するのが普通でした
8	小学校入学以前は、勉強やおけいこなどを始めていました	48	中学校2年生の頃は、運動以外の趣味活動を楽しんだものでした
9	小学校入学以前は、元気に遊んでいると、お父さんがよくほめてくれました	49	中学校2年生の頃は、学習塾や自宅での勉強が大変でした
10	小学校入学以前は、元気に遊んでいると、お母さんがよくほめてくれました	50	中学校2年生の頃は、お父さんがわたしのスポーツ参加をよくはげました
11	小学校入学以前は、兄弟・姉妹とよく活発に遊びました	51	中学校2年生の頃は、お母さんがわたしのスポーツ参加をよくはげました
12	小学校入学以前は、同性のお友だちとよく活発に遊びました	52	中学校2年生の頃は、兄弟・姉妹がわたしのスポーツ参加をよくはげました
13	小学校入学以前は、異性のお友だちとよく活発に遊びました	53	中学校2年生の頃は、同性の友人がわたしのスポーツ参加をよくはげました
14	小学校入学以前は、幼稚園やスポーツ教室の先生も活発に遊ぶわたしを認めてくれました	54	中学校2年生の頃は、異性の友人がわたしのスポーツ参加をよくはげました
15	小学校入学以前から「男の子らしい身体」「女の子らしい身体」のちがいに気づいていました	55	中学校2年生の頃は、先生がわたしのスポーツ参加をよくはげました
16	小学校入学以前から「男の子らしい行動」「女の子らしい行動」のちがいに気づいていました	56	中学校2年生の頃は、「男らしい身体」または「女らしい身体」を強く意識するようになりました
17	小学校入学以前は、運動するときはいつも力いっぱい頑張っていました	57	中学校2年生の頃は、「男らしい行動」または「女らしい行動」を強く意識するようになりました
18	小学校入学以前は、運動するときはいつも一番になりたいという気持ちが強くはたらいていました	58	中学校2年生の頃は、スポーツや運動では力いっぱい頑張りました
19	小学校入学以前は、男の子と女の子が同じ運動をするのが当たり前でした	59	中学校2年生の頃は、スポーツや運動では勝ちたいという気持ちが強くはたらきました
20		60	中学校2年生の頃は、男子と女子が同じ運動種目をしてもおかしくないと考えていました
21	小学校3・4年生の頃は、とても元気な子どもでした	61	現在（高2）は、ひと一倍元気な方だと思います
22	小学校3・4年生の頃は、運動がかなり得意な方でした	62	現在（高2）は、スポーツや運動がかなり得意な方です
23	小学校3・4年生の頃は、スポーツをみるのが大好きでした	63	現在（高2）は、スポーツをみるのが大好きです
24	小学校3・4年生の頃は、ひとりでも活発に運動遊びをしていました	64	現在（高2）は、ひとりでも、ジョギングやなわとびなどよく運動します
25	小学校3・4年生の頃は、お友だちと一緒に活発に遊ぶのが楽しみでした	65	現在（高2）は、グループで運動するのが楽しみです
26	小学校3・4年生の頃は、学校や地域のスポーツクラブなどで活発に運動したものです	66	現在（高2）は、スポーツクラブや運動部で活発に運動しています
27	小学校3・4年生の頃は、テレビをみる時間がかなり長かったようです	67	現在（高2）は、テレビをかなり長い時間視聴するのが普通です
28	小学校3・4年生の頃は、運動以外に好きな趣味活動がありました	68	現在（高2）は、運動以外の趣味活動を楽しんでいます
29	小学校3・4年生の頃は、勉強やおけいこなどのため、かなり多忙でした	69	現在（高2）は、勉強にかなり時間をかけています
30	小学校3・4年生の頃は、お父さんがスポーツや運動で、よくほめたりはげましたりしてくれました	70	現在（高2）は、お父さんがわたしのスポーツ参加をよくはげました
31	小学校3・4年生の頃は、お母さんがスポーツや運動で、よくほめたりはげましたりしてくれました	71	現在（高2）は、お母さんがわたしのスポーツ参加をよくはげました
32	小学校3・4年生の頃は、兄弟・姉妹がスポーツや運動で、よくほめたりはげましたりしてくれました	72	現在（高2）は、兄弟・姉妹がわたしのスポーツ参加をよくはげました
33	小学校3・4年生の頃は、同性の友人がスポーツや運動で、よくほめたりはげましたりしてくれました	73	現在（高2）は、同性の友人がわたしのスポーツ参加をよくはげました
34	小学校3・4年生の頃は、異性の友人がスポーツや運動で、よくほめたりはげましたりしてくれました	74	現在（高2）は、異性の友人がわたしのスポーツ参加をよくはげました
35	小学校3・4年生の頃は、先生がスポーツや運動で、よくほめたりはげましたりしてくれました	75	現在（高2）は、先生がわたしのスポーツ参加をよくはげました
36	小学校3・4年生の頃は、「男の子らしい身体」「女の子らしい身体」を強く意識するようになっていました	76	現在（高2）は、「男らしい身体」または「女らしい身体」を強く意識しています
37	小学校3・4年生の頃は、「男の子らしい行動」「女の子らしい行動」を強く意識するようになっていました	77	現在（高2）は、「男らしい行動」または「女らしい行動」を強く意識しています
38	小学校3・4年生の頃は、スポーツや運動では力いっぱい頑張りました	78	現在（高2）は、スポーツや運動では力いっぱい頑張ります
39	小学校3・4年生の頃は、スポーツや運動では勝ちたいという気持ちが強くはたらきました	79	現在（高2）は、スポーツや運動では勝ちたいという気持ちが強くはたらきます
40	小学校3・4年生の頃は、男子と女子が同じ運動をするのが当たり前でした	80	現在（高2）は、男子と女子が同じ運動種目をしてもおかしいとは思いません

中、1964)<sup>4)</sup>、組織剣道人口の地域格差に関する研究(田中、1975)<sup>5)</sup>、スキー行動の地域的特徴に関する研究(武田ら、1983)<sup>6)</sup>などは、スポーツ行動規定要因の組成によって、固有のスポーツ環境またはスポーツ風土が形成されていることを示唆する研究であるとみてよい。

上述の諸研究をふまえて、田中(1985)<sup>7)</sup>は「個体の生得的傾向に加えて、社会的学習に基づく知識、価値志向、体力、技能、スポーツ参加に伴う情調などが体制化され定着したものが、いわゆるスポーツへの先有傾向(predisposition)<sup>8) 9) 10)</sup>であり、この先有傾向を望ましいかたちで形成することが、スポーツへの社会化(socialization into sport)の理想型である」とし、先有傾向の形成過程とスポーツ環境との関係を性差の

観点から明らかにする目的で「スポーツ風土調査用紙(Sport Climate Inventory、以下略SCI)」を作成・実施して大要次のような知見を得ている。

- 1) 男性中心的に発達普及してきたわが国のスポーツ土壌のなかで、女性のスポーツ参加が飛躍的な伸びを示しながらも、今なお高校生のもつスポーツ意識の中には、日本人特有の女らしさ志向の精神的風土が、女性のスポーツ参加に対する抑制要因として機能しているとみられる。<sup>11)</sup>
- 2) 受験志向の勉強が一層きびしくなるにつれて、男女とも組織的スポーツ活動への参加が低調になるなかで、特に女子にその傾向が著しい<sup>12) 13)</sup>。

一方、筆者らは、親の目からみた子どもの社会化過程調査として、幼児期の運動遊びと親の養育

表2. 高校期の因子構造

項 目	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	第5因子	共通性
61 現在(高2)は、ひと一倍元気な方だと思います	0.610	0.133	0.033	0.020	0.041	0.393
62 現在(高2)は、スポーツや運動がかなり得意な方です	0.699	0.141	0.055	0.046	-0.070	0.519
63 現在(高2)は、スポーツをみるのが大好きです	0.464	0.096	0.073	0.119	0.069	0.249
64 現在(高2)は、ひとりでも、ジョギングやなわとびなどよく運動します	0.416	0.117	0.110	-0.018	0.076	0.205
65 現在(高2)は、グループで運動するのが楽しみです	0.651	0.152	0.078	0.055	0.016	0.456
66 現在(高2)は、スポーツクラブや運動部で活発に運動しています	0.483	0.233	0.225	0.066	-0.419	0.519
67 現在(高2)は、テレビをかなり長い時間視聴するのが普通です	0.010	0.040	-0.000	0.038	0.015	0.003
68 現在(高2)は、運動以外の趣味活動を楽しんでいます	-0.049	-0.006	-0.014	0.079	0.418	0.184
69 現在(高2)は、勉強にかなり時間をかけています	0.092	0.054	0.029	-0.003	0.269	0.084
70 現在(高2)は、お父さんがわたしのスポーツ参加をよくはげましてくれます	0.209	0.364	0.786	0.051	-0.012	0.797
71 現在(高2)は、お母さんがわたしのスポーツ参加をよくはげましてくれます	0.200	0.382	0.813	0.049	0.015	0.849
72 現在(高2)は、兄弟・姉妹がわたしのスポーツ参加をよくはげましてくれます	0.194	0.568	0.500	-0.013	0.001	0.610
73 現在(高2)は、同性の友人がわたしのスポーツ参加をよくはげましてくれます	0.323	0.691	0.341	0.053	-0.039	0.703
74 現在(高2)は、異性の友人がわたしのスポーツ参加をよくはげましてくれます	0.222	0.807	0.217	0.009	0.036	0.749
75 現在(高2)は、先生がわたしのスポーツ参加をよくはげましてくれます	0.210	0.705	0.299	0.042	0.025	0.634
76 現在(高2)は、「男らしい身体」または「女らしい身体」を強く意識しています	0.186	0.084	0.020	0.797	0.056	0.680
77 現在(高2)は、「男らしい行動」または「女らしい行動」を強く意識しています	0.186	0.047	0.078	0.876	0.061	0.815
78 現在(高2)は、スポーツや運動では力いっぱい頑張ります	0.744	0.098	0.163	0.104	0.020	0.601
79 現在(高2)は、スポーツや運動では勝ちたいという気持ちが強くはたります	0.711	0.105	0.120	0.132	-0.060	0.552
80 現在(高2)は、男子と女子が同じ運動種目をしてもおかしいとは思いません	0.168	0.100	0.014	-0.179	0.033	0.072
固有値	5.638	1.829	1.275	0.515	0.415	9.672
説明率	58.3	18.9	13.2	5.3	4.3	100.0

態度に関する研究 (1986)<sup>14)</sup> や子どもの社会化過程と運動・スポーツ行動との関係についての研究 (1986)<sup>15)</sup> を試みている。

これらの先行諸研究の成果をふまえ、田中 (1987)<sup>16)</sup> は、進学中心高校を中心としたスポーツ風土調査を実施し、日本的なスポーツ風土と女性のスポーツ行動との関連性について、先行研究の仮説を検証するとともに、運動部員と非運動部員との間にみられる差異を比較検討しながら、「わが国では、第二次性徴期以降の女子のスポーツ参加に抑制的に機能するスポーツ風土が存在しながらも、運動部員の生成過程に関する限り、女性に対しても男性と同様、social agentはプラスに機能している」という仮説を提示した。

前述の研究 (1987)<sup>17)</sup> と同一のデータを用いて、短大・大学進学志望者のみに分析の対象を限定し、課外のスポーツクラブ選好者と文化クラブ選好者とを明確に分け、この両者の比較分析をとおして、スポーツクラブ員に投影されるわが国におけるスポーツ的社会化の様態を解明しようとするのが本研究の目的である。

## 方 法

### 1. 調査対象

対象は岩手県下と高知県下の高校2年生計1,766名(男子986名、女子780名)であって、有効回収率は97.2%であった。

### 2. 調査時期

岩手県の調査は昭和60年2月、高知県の調査は昭和61年3月に実施した。

### 3. 調査方法

調査は協力校に質問紙を一括郵送して集合調査法により、その場で各項目を読み上げ回答を求め、回収する手順をとった。

### 4. 質問紙の構成

質問紙は性、学年、高校卒業後の進路志望等8項目のフェースシートおよびSCI 80項目の計88項目から構成されている。質問紙のうちSCIの項目は表1のとおりであるが、各項目は発達段階別に「小学校入学以前」(項目1~項目20)、「小学校3・4年生の頃」(項目21~項目40)、「中学校2年生の頃」(項目41~項目60)、「現在(高2)」(項目61~項目80)の4つの時期に区分されており、しかも各発達段階別の自己認知の様相を

とらえるため、これら項目の意味内容是对応関係にあるように工夫されている。また、各項目についての応答は「そのとおり」(5)、「それに近い」(4)、「どちらともいえない」(3)、「その反対に近い」(2)、「その反対」(1)の5段階評定尺度上の当てはまる番号を選択するように指示された。

## 5. データ処理

- 1) 本稿「1.高校期にみられる因子構造」の部分では、サンプル1,766について因子分析が試みられる。
- 2) 本稿「2.社会化過程と課外クラブの選好」の部分では、短大を含む大学進学志望者のうち、課外のスポーツクラブまたは文化クラブを選好している840名について、SCI 80項目に対する応答傾向が分析される。
- 3) データは日本大学文理学部コンピュータセンターのIBM-433ILO2で処理した。データ分析はプログラム「SPSS」、サブプログラム「T-TEST」、「CROSSTABS」、および「FACTOR (PA2)」で行った。

## 結果と考察

### 1. 高校期にみられる因子構造

表2は、調査対象者1,766名から得た素データ(項目61~項目80に対する応答)を基に相関行列を算出し、因子分析(主因子解、バリマックス回転)によって高校期の因子構造をみたものである。因子負荷量0.4以上の項目の内容から抽出された因子の解釈・命名を試みると次のとおりである。

第1因子:「スポーツや運動では力いっぱい頑張ります」(0.744)、「スポーツや運動では勝ちたいという気持ちが強くなります」(0.711)、「スポーツや運動がかなり得意な方です」(0.699)、「グループで運動するのが楽しみです」(0.651)、「ひと一倍元気な方だと思います」(0.610)、「スポーツクラブや運動部で活発に運動しています」(0.483)、「スポーツをみるのが大好きです」(0.464)、「ひとりでも、ジョギングやなわとびなどよく運動します」(0.416)の8項目に高い因子負荷量が認められた。これらの項目には共通して運動・スポーツに関する意味内容が含まれているため、この因子を「スポーツ好き・が

んばり因子」と命名した。

第2因子：「異性の友人がわたしのスポーツ参加をよくはげましてくれます」(0.807)、「先生がわたしのスポーツ参加をよくはげましてくれます」(0.705)、「同性の友人がわたしのスポーツ参加をよくはげましてくれます」(0.691)、「兄弟・姉妹がわたしのスポーツ参加をよくはげましてくれます」(0.568)の項目に因子負荷量が高く認められた。これら4項目中上位3項目は友人や先生によるはげましであるため、第2因子を「学校でのスポーツはげまし因子」と命名した。

第3因子：「お母さんがわたしのスポーツ参加をよくはげましてくれます」(0.813)、「お父さんがわたしのスポーツ参加をよくはげましてくれます」(0.786)、「兄弟・姉妹がわたしのスポーツ参加をよくはげましてくれます」(0.500)の項目内容から、この因子を「家庭でのスポーツはげまし因子」と命名した。

第4因子：「男らしい行動または女らしい行動を強く意識しています」(0.876)、「男らしい身体または女らしい身体を強く意識しています」(0.797)の項目に高い因子負荷量が高いため、この因子を「性別意識因子」と命名した。

第5因子：「スポーツクラブや運動部で活発に運動しています」(-0.419)、「運動以外の趣味活動を楽しんでいます」(0.418)の項目に高い因子負荷量が高いため、この因子を「スポーツまたは文化活動選好因子」と命名した。

以上の5因子中第4、第5因子は必ずしも説明率(寄与率)が高くないものの、第5因子までの累積が100%であることから、項目61~項目80の20項目はこれら5つの基本的因子に集約されるものと考えられる。また、幼児期、小学校期、中学校期ごとにも同様の分析を試みた結果、「運動・スポーツ好き因子」、「(学校での)(家庭での)スポーツはげまし因子」、「性別意識因子」の上位因子は各発達段階に共通して認められた。<sup>2)</sup>

このような中で、高校期にのみ抽出された因子すなわち「スポーツまたは文化活動選好因子」(第5因子)に注目しなければならないが、この因子は高校生の生活構造の実質内容からすれば「課外クラブ選

好因子」と読み換えることもできるものと考えられる。

## 2. 社会化過程と課外クラブの選好

表3は卒業後の進路志望を男女別に整理したものである。短大・大学への進路志望者は男子で70%、

表3. 卒業後の進路

( )内は%

進路	性	
	男	女
就 職	122 (12.4)	97 (12.4)
各種専修学校	75 (7.6)	118 (15.1)
短大・大学	711 (72.1)	493 (63.3)
そ の 他	78 (7.9)	72 (9.2)
計	986 (100.0)	780 (100.0)

女子で60%を上回っている。このサンプル中、短大・大学進路志望者を抽出して、課外のスポーツクラブ選好群と文化クラブ選好群とに分けてみた結

表4. 課外クラブの選好

( )内は%

課外ク ラブの選好	性	
	男	女
スポーツクラブ	354 (49.8)	185 (37.5)
文化クラブ	138 (19.4)	163 (33.1)
不 参 加	219 (30.8)	145 (29.4)
計	711 (100.0)	493 (100.0)

$\chi^2$  検定:  $df=2$   $\chi^2=31.676$   $P<0.001$

果、表4に示すとおり、男子でスポーツクラブを選好する者354名(49.8%)、女子でスポーツクラブを選好する者185名(37.5%)、男子で文化クラブを選好する者138名(19.4%)、女子で文化クラブを選好する者163名(33.1%)であった。このような中で、スポーツクラブを選好するものが男子に、文化クラブを選好するものが女子に有意に多くみられる点に注目しなければならない。

表5. 男女別課外クラブ選好別にみるSC I に対する応答傾向

項目	男			女			t 検定	項目	男			女			t 検定					
	スポーツクラブ	文化クラブ	文化クラブ	スポーツクラブ	文化クラブ	文化クラブ			スポーツクラブ	文化クラブ	文化クラブ	スポーツクラブ	文化クラブ	文化クラブ						
1	3,992	1,155	3,674	1,221	3,849	1,206	3,564	1,324	3,726	1,008	3,109	1,131	3,719	1,025	3,203	3,203	**	**	**	
2	3,384	1,077	2,826	1,220	3,232	1,086	2,742	1,168	3,638	0,984	2,688	1,119	3,449	0,999	2,503	2,503	*	*	*	
3	3,158	1,203	2,862	1,185	2,957	0,977	2,601	1,086	4,113	1,031	3,652	1,234	4,281	0,901	3,436	3,436	*	*	*	
4	3,223	1,176	2,841	1,257	3,022	1,193	2,773	1,229	3,014	1,345	2,652	1,376	2,881	1,183	2,282	2,282	*	*	*	
5	4,300	0,946	4,058	1,189	3,756	1,282	*	*	4,952	1,057	3,413	1,387	3,946	1,082	3,184	3,184	*	*	*	
6	4,554	1,250	1,413	1,106	1,396	1,114	1,497	1,199	4,206	1,247	3,130	1,643	4,222	1,225	1,615	1,615	*	*	*	
7	3,266	1,261	3,406	1,230	3,049	1,167	2,767	1,215	3,404	1,208	3,203	1,341	3,373	1,178	2,976	2,976	*	*	*	
8	3,006	1,416	3,087	1,457	3,492	1,380	3,479	1,420	2,590	1,314	4,246	1,701	3,695	1,222	4,080	4,080	*	*	*	
9	3,206	1,001	3,051	0,991	3,292	1,033	3,129	1,095	3,452	1,137	3,022	1,050	3,562	1,131	2,736	2,736	*	*	*	
10	3,226	1,004	3,138	1,012	3,411	1,018	3,313	1,120	2,986	1,063	2,993	0,948	3,189	1,104	2,865	2,865	*	*	*	
11	3,514	1,374	3,486	1,314	3,843	1,340	3,509	1,293	3,376	1,042	3,087	1,057	3,719	0,987	2,969	2,969	*	*	*	
12	4,401	0,933	4,087	1,070	4,146	1,071	4,086	1,080	4,373	0,765	4,188	0,842	4,054	0,852	3,847	3,847	*	*	*	
13	3,444	1,342	3,254	1,383	3,692	1,271	3,681	1,285	3,076	1,050	2,725	1,002	3,238	0,993	2,564	2,564	*	*	*	
14	3,319	1,063	3,007	1,137	3,281	1,164	3,031	1,288	4,362	0,767	4,275	0,790	4,087	0,868	3,933	3,933	*	*	*	
15	2,463	1,317	2,326	1,239	1,978	1,123	2,061	1,104	55	3,350	1,092	3,044	1,073	3,578	0,981	2,822	2,822	*	*	*
16	2,754	1,385	2,594	1,254	2,319	1,189	2,509	1,229	4,283	0,915	3,775	1,196	4,173	0,990	3,491	3,491	*	*	*	
17	4,096	1,052	3,797	1,233	4,043	1,078	3,699	1,238	4,294	0,912	3,688	1,145	4,227	0,940	3,350	3,350	*	*	*	
18	3,751	1,200	3,290	1,280	3,341	1,233	3,190	1,284	2,644	1,189	2,486	1,069	3,060	1,234	2,859	2,859	*	*	*	
19	4,136	1,053	4,073	0,994	4,530	0,780	4,239	0,942	3,684	1,041	2,971	1,074	3,676	0,940	3,123	3,123	*	*	*	
20	4,328	0,916	3,761	1,143	4,162	1,066	3,767	1,152	3,638	0,984	2,688	1,119	3,449	0,999	2,503	2,503	*	*	*	
21	3,774	1,141	2,877	1,281	3,687	1,255	2,914	1,288	4,189	1,019	3,703	1,348	4,373	0,882	3,712	3,712	*	*	*	
22	3,760	1,145	3,333	1,258	3,541	1,016	2,926	1,147	2,893	1,325	2,493	1,280	2,687	1,268	2,086	2,086	*	*	*	
23	3,136	1,204	2,783	1,151	2,881	1,102	2,718	1,210	3,941	1,056	3,283	1,273	3,941	1,069	3,129	3,129	*	*	*	
24	4,480	0,846	4,109	0,987	4,437	0,805	4,098	1,118	4,421	0,913	1,623	0,953	4,189	1,084	1,552	1,552	*	*	*	
25	3,571	1,466	2,819	1,618	3,227	1,515	2,822	1,440	2,876	1,291	2,783	1,376	2,914	1,190	2,785	2,785	*	*	*	
26	3,740	1,127	3,587	1,163	3,476	1,022	3,098	1,161	3,435	1,354	4,261	1,116	3,427	1,258	4,307	4,307	*	*	*	
27	3,497	1,415	3,783	1,317	3,697	1,227	3,982	1,225	2,497	1,117	2,681	1,132	2,330	0,997	2,577	2,577	*	*	*	
28	2,339	1,327	2,638	1,361	2,955	1,296	3,000	1,291	3,331	1,171	2,804	0,973	3,438	1,072	2,706	2,706	*	*	*	
29	3,274	1,135	3,044	1,126	3,487	1,089	3,006	1,141	3,243	1,148	2,804	0,950	3,458	1,072	2,706	2,706	*	*	*	
30	3,203	1,050	3,022	0,991	3,557	1,067	3,141	1,132	3,048	1,109	2,529	0,906	3,182	1,106	2,601	2,601	*	*	*	
31	2,681	1,008	2,529	0,998	2,789	1,013	2,669	1,037	3,407	1,085	2,735	1,038	3,146	1,035	2,730	2,730	*	*	*	
32	3,223	1,031	3,007	1,117	3,378	1,026	3,135	1,021	3,025	1,115	2,594	1,023	3,146	1,035	2,448	2,448	*	*	*	
33	4,859	1,025	2,558	1,060	2,968	0,977	2,773	1,067	3,059	1,088	2,515	1,020	3,119	0,954	2,479	2,479	*	*	*	
34	3,396	1,097	2,942	1,024	3,578	1,003	3,227	1,113	4,469	0,738	4,283	0,819	4,011	0,927	3,834	3,834	*	*	*	
35	3,130	1,106	3,073	1,078	3,000	0,950	2,908	1,029	77	4,435	0,755	4,326	0,839	4,222	4,006	4,006	*	*	*	
36	3,370	1,084	3,304	1,085	3,200	0,920	3,117	1,130	78	4,209	0,976	3,623	1,154	4,200	0,908	3,491	3,491	*	*	*
37	4,251	0,982	3,906	1,059	4,238	0,901	3,785	1,098	4,291	0,951	3,507	1,129	4,193	0,912	3,288	3,288	*	*	*	
38	4,155	0,999	3,783	1,201	4,087	0,946	3,534	1,203	2,788	1,385	2,597	1,130	3,038	1,295	2,699	2,699	*	*	*	
39	4,390	1,147	3,333	1,161	4,011	1,063	3,834	0,989	3,684	1,041	2,971	1,074	3,676	0,940	3,123	3,123	*	*	*	
40	3,774	1,141	2,877	1,281	3,687	1,255	2,914	1,288	4,189	1,019	3,703	1,348	4,373	0,882	3,712	3,712	*	*	*	

t 検定の有意水準 \* : 5% レベル  
 \* : 1% レベル  
 \* : 0.1% レベル

表5はSCI 80項目のすべてについて、平均値および標準偏差を男女別課外クラブ選好別に示し、t検定によりそれらの差異の有無を明示してある。また、図1～図12は、表5に示す傾向の理解を一層容易にするため、幼児期、小学校期、中学校期、高校期の各発達段階に共通した意味内容をもつ項目（例えば項目2、項目22、項目42、項目62）の平均値を性別課外クラブ選好別に、しかも各発達段階別にプロットし、太実線（男子、スポーツクラブ員）、細実線（男子、文化クラブ員）、太破線（女子、スポーツクラブ員）、細破線（女子、文化クラブ員）で表わしたものである。先の因子分析の結果に準拠して、SCI 80項目を「スポーツ好き・がんばり」、「運動・スポーツ参加に対する他者のはげまし」、「性別意識」、「スポーツクラブ選好または文化クラブ選好」の4つにカテゴライズし、加えて「勉強・けいこごと」、「テレビ好き」、「スポーツの男女同権意識」などの項目について以下に分析考察を試みることにする。

1) 「スポーツ好き・がんばり」について

表5の項目1・21・41・61から明らかなように、スポーツクラブ員は文化クラブ員よりも各発達段階をとおして、元気のよさを認めている。これと同じ傾向が項目2・22・42・62（図1）の運動・スポーツの得意意識にも認められる。また、ひとりでの運動（項目4・24・44・64）やグループでの運動（項目5・25・45・65、図2）およびスポーツ

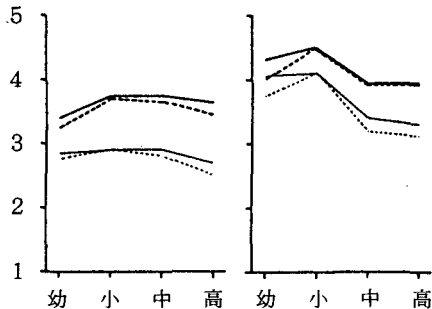


図1 運動・スポーツの得意意識

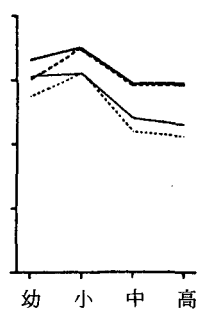


図2 グループでの運動志向

クラブ参加（項目6・26・46・66）のいずれにおいても、スポーツクラブ員の方が文化クラブ員よりも積極的であることが特に中学校期以降に顕著に認められる。このようなスポーツ参加傾向を裏

づけるように、スポーツでのがんばり意識（項目18・38・58・78）やスポーツでの勝利志向（項目19・39・59・79、図3）もまた同様な傾向を示し

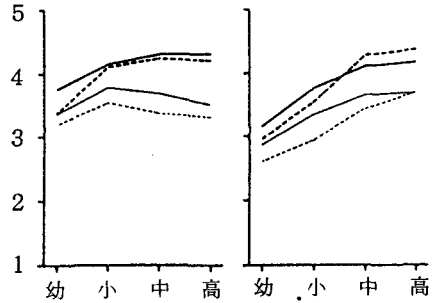


図3 スポーツでの勝利志向

ており、スポーツクラブ員の男子、女子のいずれにおいても、発達段階のかなり早い時期からスポーツでのがんばりや勝ち意識が高いことが認められる。一方、みるスポーツ（項目3・23・43・63、図4）は発達段階が進むにつれて好まれる傾向を示すが、ここでもスポーツクラブ員の方が高い平均値を示している。

以上の結果から明らかなように、スポーツクラブ員は男女とも活動性の高いことが特徴的である。すなわち、元気であり、運動神経がよく、グループでの運動を楽しみ、運動部活動に参加するほか、中学校期以降にひとりでも進んで運動するなどの特徴がスポーツクラブ員に認められる。みるスポーツを好む傾向も中学校期以降のことであるが、スポーツに対する理解度と関心の高さを示す指標として注目される。とくに、これらの傾向には一貫して男女差よりもむしろスポーツクラブ員か文化クラブ員かによる差異の方が大きく認められ、高校生の課外クラブ選好に対する先有傾向の影響の強いことが示唆される。

2) 「運動・スポーツ参加に対する他者のはげまし」について

父親からのほげまし（項目10・30・50・70）、母親からのほげまし（項目11・31・51・71、図5）および兄弟姉妹からのほげまし（項目12・32・52・72）についてみると、スポーツクラブ員の方が中学校期以降に運動・スポーツ参加に対する比較的強いほげましを受けていることが理解できる。と

くにスポーツクラブ員の女子にその傾向が特徴的にみられる。これらの傾向は、同性の友人からのほげまし（項目13・33・53・73、図6）、異性の

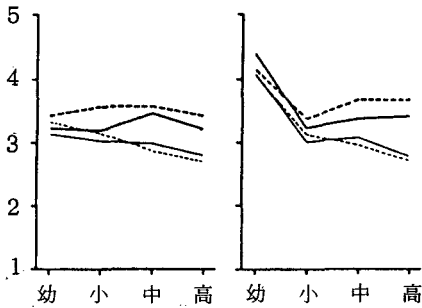


図5 母親からのほげまし 図6 同性の友人からのほげまし

友人からのほげまし（項目14・34・54・74）および先生からのほげまし（項目15・35・55・75）についても同様に認められる。ここにみられる家庭や学校でのスポーツ参加に対する称賛やほげましが、どのような機会にどのように行われ、それがどのように機能していくかについては、別途事例研究を試みなければならないが、スポーツクラブ員とくにその女子に対する重要な他者のスポーツ参加への積極的な働きかけに注目しなければならない。

3) 「性別意識」について

身体や行動に関する性差の認知についてみると、項目16・36・56・76（身体のちがい）と項目17・37・57・77（図7）（行動のちがい）から明らかのように、幼児期、小学校期、中学校期と進む

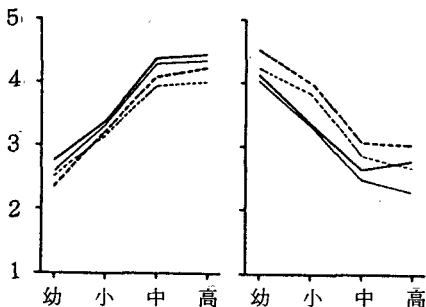


図7 性別意識（行動のちがい） 図8 スポーツの男女同権意識

につれてかなりの平均値の上昇がみられる。性別意識が第二次性徴期を境にして男女ともかなり明白になるなかで、中学校期、高校期では女子よりも男子の方が身体や行動についての性差を認めるものが有意に多いことが理解できる。この傾向と対照的なのが、項目20・40・60・80（図8）のスポーツの男女同権意識である。すなわち、発達段階が進むにつれて、男女が同じ運動をすることに対して否定的ないし疑問視的な態度がみられ、とくに男子にその傾向が強い。このような中で、高校期ではスポーツクラブ員の方が男女ともに比較的肯定的な態度を持っている点に注目すべきであろう。

4) 「スポーツクラブ選好または文化クラブ選好」について

項目6・26・46・66（図9）に注目すると、組織的スポーツへの参加は、小学校期になって活発化する傾向がみられるが、課外のスポーツクラブ員は男女ともに、文化クラブ員よりもスポーツクラブで活発に運動してきたことが有意に認められる。この傾向と逆のパターンを示すのが、項目8・28・48・68（図10）の運動以外の趣味活動である。

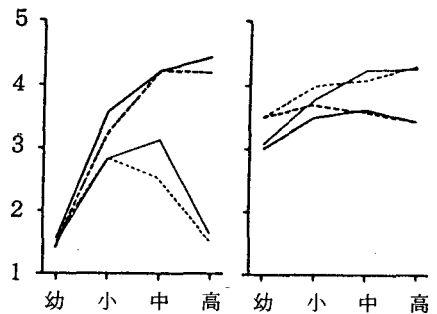


図9 組織的スポーツへの参加 図10 運動以外の趣味活動

文化クラブ員は小学校期を過ぎるとその平均値が上昇するのに対し、スポーツクラブ員は平行線ないし下降線を示すようになる。すなわち、このことは高校期のスポーツクラブないし文化クラブの選好が小学校期ですでに方向づけられていることを意味している。

以上のことから明らかのように、高校期のスポー



ツクラブ選好か文化クラブ選好かのコース選択は、小学校期から、実質的にはそれ以前から選好パターンを持っていることが示唆されるわけである。

5) 「きびしい受験勉強」の波紋

「勉強・けいこごと」についてみると、項目9・29・49・69 (図11) から明らかなように、女子の多くが各種のおけいこごとを幼児期から開始し、小学校期まで継続している様子を読みとれる。中学校期に入ると「学習塾や自宅での勉強が大変」な者が、男女別クラブ選好別に関わらず同様な傾向を示すようになってくる。高校期ではさらに「勉強にかなり時間をかけ」る者も出てくるようになる。中学校期、高校期ともその平均値は必ずしも高くはないが、中学校期の「大変」や高校期の「かなり」のワーディングに対する応答であることを考えれば、中学校期以降の勉強の大変さが十分理解できる。この傾向と対照的なのが「テレビ好き」の項目である。すなわち、項目7・27・47・67 (図12) のとおり、幼児期、小学校期でテレビ好

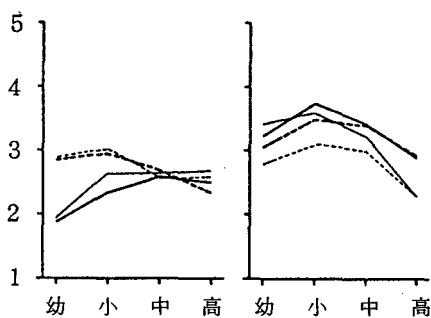


図11 勉強・けいこごと 図12 テレビ志向

きなものが特に男子に多くみられるが、中学校期を境に性差やクラブ選好に関係なく4群ともテレビをあまり見ないようになってくる。中学校期以降の受験勉強の本格的なきびしさを示唆するこれらの結果が、さらに、図9にみられるようなクラブ選好傾向とくにスポーツクラブ離れの傾向と密接な関係にあることに注目しなければならないのである。

要約と結論

高校2年生1,766名を対象として、スポーツ風土調査用紙により、高校生にみる社会化過程と課外クラブの選好について調査分析した結果、次のような知見を得た。

1. 全調査対象者1,766名から得たスポーツ風土調査項目80項目中、高校期(現在)に関する20項目に対する応答に基づき、諸項目のカテゴリー化を意図して因子分析を試みた結果、次のような因子が抽出された。

第1因子：スポーツ好き・がんばり因子

第2因子：学校でのスポーツはげまし因子

第3因子：家庭でのスポーツはげまし因子

第4因子：性別意識因子

第5因子：スポーツまたは文化活動選好因子

幼児期、小学校期、中学校期のそれぞれについてこれと同様の分析を試みた結果、第1因子～第4因子の上位4因子は共通に認められたため、本研究では高校期にみられたこの5因子を分析上の実質的なカテゴリーとして用いることにした。

2. 本研究の目的に従って、全調査対象者1,766名中、短大・大学への進学を志望する者を抽出して、スポーツクラブ員と文化クラブ員とを明確に区分したところ、男女ともに約70%の者が課外のクラブ活動を行っていることが明らかになった。このような中で、男子は女子よりもスポーツクラブを選好する者が、女子は男子よりも文化クラブを選好する者がそれぞれ有意に多く認められた。

3. 男女別課外クラブ選好別の4群について、スポーツ風土調査項目80項目に対する応答の異同を、先の因子分析の結果に基づくカテゴリーごとに分析した結果は次のようにまとめることができる。

1) 高校におけるスポーツクラブ選好者は、文化クラブ選好者に比べ、小学校期、中学校期をとおしてスポーツクラブを選好してきた傾向が明白に認められる。

2) スポーツクラブ選好者は、発達段階のかなり早い時期から活動性の高さや運動・スポーツを行うこと・見ることを好む傾向が認められる。

3) スポーツクラブ選好者は、運動・スポーツに関して、両親、友人、先生などの他者からの称賛や

はげましを多く受けている傾向が認められる。

以上の1) 2) 3)の結果から、スポーツ選好度やスポーツすることに対する他者の影響には、彼らの自己認知の差異つまり社会化過程の認知的差異が、性差を越えたかたちで明白に認められる。すなわち高校でスポーツクラブを選好する者には、男女いずれの場合も、発達段階のかなり早い時期からスポーツに対する特有の先有傾向が形成されていることを示唆するものといえよう。

4) 中学校期以降すなわち第二次性徴期以降、男女ともに身体や行動の性差を強く意識する傾向がみられた。この傾向とは対照的に、スポーツの男女同権意識は男女ともに後退する傾向が認められた。このことは、第二次性徴期以降の女性のスポーツ参加に抑制的に機能するわが国のスポーツ風土の存在を示唆するとともに、スポーツクラブ員に関する限り、男女とも、この風土に制約されない傾向のあることを示唆するものであるといえよう。

以上の知見は、さらに次のようにまとめることができる。

わが国の入学試験制度ときびしい受験勉強とは、課外のクラブ活動とくにスポーツクラブ活動の低調化を招いている。そのうえ、女性自身が女性らしさを志向するとともに、周辺の他者からも女性に女性らしさを求めるわが国の社会的風土は、女性のスポーツ参加に対していっそう抑制的に機能しているとみてよい。このようなスポーツ的風土の中にありながらも、高校の課外スポーツクラブ選好者は、男女を問わず、スポーツに対する好意的先有傾向ないしはスポーツクラブメンバーに共通なスポーツ選好的パーソナリティを、発達段階の早い時期から形成・発達させてきている点が注目される。

## 文 献

- 1) 影山健・今村浩明・佐伯聰夫「スポーツ参与の社会学について」、『体育社会学研究6・スポーツ参与の社会学』、体育社会学研究会、道和本書院、1977、pp.1-23.
- 2) 嘉戸脩・永島淳正・川辺光・萩原美代子・加藤爽子「直接的スポーツ関与の分析とその要因に関する研究」、『体育社会学研究6・スポーツ参与の社会学』、体育社会学研究会、道和本書院、1977、pp.25-56.
- 3) 松井三雄他「受験生活の心身に及ぼす影響およびその対策に関する体育学的研究」、『体育学研究』第5巻1号、1960、pp.352-362.
- 4) 田中鎮雄「わが国のスポーツ人口に関する研究 - 広義のスポーツ人口について -」、『研究紀要』第7号、日本大学人文科学研究所、1964、pp.108-128.
- 5) 田中鎮雄「組織剣道人口の地域格差 - 剣道の地域伝統性に関する研究の試み -」、『武道学研究』第7巻2号、日本武道学会、1975、pp.6-12.
- 6) 武田正司・田中鎮雄「スポーツ選好に対する環境の関与 - スキーの場合 -」、『体育・スポーツ社会学研究』第2巻、体育・スポーツ社会学研究会、道和本書院、1983、pp.155-173.
- 7) 田中鎮雄「わが国における社会的風土と女性のスポーツ行動」、『研究紀要』第30号、日本大学人文科学研究所、1985、pp.263-278.
- 8) 鮑戸弘「態度構造研究の方法論に関する諸問題 - 要因分析との関連を中心に -」、『心理学評論』Vol.9, No.2、1965、pp.267-288.
- 9) 田中鎮雄・北村辰夫「コーチ - アスリート関係とその人間形成機能 - スポーツ行動モデル理論の構築をめざして -」、『研究紀要』第24号、日本大学人文科学研究所、1980、pp.31-43.
- 10) 前掲書6)
- 11) 前掲書7)
- 12) 梶沢聖子・田中鎮雄・山岸明郎・武田正司「勉学志向とスポーツ・レクリエーション行動」、『レクリエーション研究』、第14号、日本レクリエーション学会、1985、pp.68-73.
- 13) 梶沢聖子・田中鎮雄・武田正司「勉学志向とスポーツ・レクリエーション行動(第2報)」、『レクリエーション研究』第16号、日本レクリエーション学会、1986、pp.14-17.
- 14) 綿田育代・田中鎮雄・梶沢聖子・武田正司「幼児の運動遊びと親の養育態度」、『レクリエーション研究』第16号、日本レクリエーション学会、1986、pp.6-9.
- 15) 松村悦博・田中鎮雄・田辺英夫・久保木優・武

田正司「子どもの社会化過程と運動・スポーツ行動－親の意識分析から－」、『レクリエーション研究』第16号、日本レクリエーション学会、1986、pp.10-13.

文科学研究所、1987、pp.367-378.

17) 前掲書 16)

注

16) 田中鎮雄「わが国における社会的風土と女性のスポーツ行動(Ⅱ)－Sport Climate Inventory 適用の試み－」、『研究紀要』第33号、日本大学人

幼児期、小学校期、中学校期のそれぞれの因子分析の結果は、表6のとおりである。

表6. 幼児期、小学校期、中学校期の因子構造

項目	幼 児 期							小 学 校 期							中 学 校 期						
	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	第5因子	第6因子	共通性	項目	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	第5因子	共通性	項目	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	第5因子	共通性
1	0.590	0.359	0.013	-0.010	0.067	0.012	0.482	21	0.668	0.116	0.022	-0.005	0.035	0.461	41	0.502	0.176	0.003	-0.126	-0.002	0.409
2	0.691	0.182	-0.001	0.051	0.269	0.027	0.587	22	0.725	0.252	0.059	-0.002	-0.063	0.597	42	0.718	0.212	0.030	-0.035	-0.074	0.569
3	0.514	0.068	0.074	0.095	0.230	0.010	0.284	23	0.489	0.145	0.099	0.063	-0.002	0.274	43	0.504	0.143	0.091	-0.005	0.007	0.283
4	0.611	0.254	0.109	0.045	0.086	-0.014	0.459	24	0.507	0.181	0.061	0.028	0.013	0.294	44	0.463	0.187	-0.007	0.015	0.114	0.263
5	0.384	0.665	0.024	0.040	0.024	-0.163	0.619	25	0.592	0.069	0.036	0.029	0.025	0.358	45	0.620	0.247	0.085	-0.071	0.077	0.464
6	0.135	-0.027	0.025	0.102	0.006	0.290	0.114	26	0.488	0.141	0.154	0.049	0.079	0.290	46	0.598	0.260	0.055	0.096	-0.177	0.469
7	0.068	-0.006	-0.037	0.112	0.040	0.035	0.021	27	0.145	-0.070	-0.039	0.122	0.067	0.047	47	0.099	0.013	0.059	-0.088	0.026	0.022
8	-0.061	0.108	0.058	0.119	-0.040	0.319	0.136	28	-0.027	0.065	0.049	0.081	0.391	0.166	48	-0.041	0.017	0.114	-0.020	0.367	0.150
9	-0.044	0.056	0.021	0.000	0.026	0.518	0.275	29	0.039	0.091	0.090	0.001	0.574	0.348	49	0.025	0.060	-0.042	0.003	0.362	0.137
10	0.104	0.167	0.853	-0.036	0.051	0.070	0.774	30	0.203	0.254	0.771	0.044	0.169	0.730	50	0.272	0.702	0.063	0.414	0.064	0.746
11	0.096	0.185	0.903	-0.016	0.045	0.099	0.872	31	0.194	0.277	0.851	0.014	0.123	0.854	51	0.257	0.761	0.052	0.462	0.036	0.863
12	0.096	0.329	0.129	0.013	0.073	0.103	0.150	32	0.105	0.444	0.384	-0.001	0.076	0.361	52	0.181	0.687	-0.033	0.096	0.112	0.527
13	0.228	0.589	0.047	0.034	0.016	-0.020	0.403	33	0.287	0.729	0.223	0.071	0.102	0.679	53	0.328	0.767	0.081	-0.126	0.057	0.722
14	0.093	0.455	0.108	-0.035	0.099	0.197	0.277	34	0.232	0.700	0.132	0.055	0.165	0.599	54	0.232	0.769	0.018	-0.291	0.084	0.737
15	0.374	0.417	0.172	0.003	0.174	0.106	0.385	35	0.362	0.584	0.248	0.089	0.072	0.547	55	0.327	0.710	0.054	-0.088	-0.005	0.622
16	0.028	-0.017	0.706	0.706	-0.019	0.116	0.514	36	0.088	0.108	0.035	0.782	0.075	0.638	56	0.233	0.089	0.805	-0.024	0.118	0.725
17	0.024	0.003	0.062	0.832	-0.001	0.097	0.707	37	0.112	0.086	0.069	0.840	0.035	0.732	57	0.218	0.085	0.850	0.018	0.141	0.797
18	0.344	0.368	0.105	0.014	0.444	-0.020	0.462	38	0.712	0.108	0.167	0.041	0.022	0.549	58	0.773	0.163	0.055	0.087	0.006	0.635
19	0.412	0.192	0.043	0.129	0.670	-0.056	0.678	39	0.662	0.098	0.137	0.124	0.052	0.485	59	0.727	0.178	0.077	0.062	0.043	0.573
20	-0.036	0.280	0.072	-0.163	0.205	0.089	0.161	40	0.184	0.046	0.078	-0.176	0.182	0.106	60	0.143	0.046	-0.239	0.035	0.125	0.096
因子数	4.029	1.491	1.321	0.639	0.479	0.401	8.360	因子数	5.140	1.537	1.329	0.643	0.466	9.115	因子数	6.049	1.622	1.290	0.519	0.330	9.810
説明率	48.2	17.8	15.8	7.6	5.7	4.8	100.0	説明率	56.4	16.9	14.6	7.1	5.1	100.0	説明率	61.7	16.5	13.2	5.3	3.4	100.0